

製品名: NT5C3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14920**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	38kDa

抗原情報

遺伝子名	NT5C3 NT5C3; P5N1; UMPH1; HSPC233; Cytosolic 5'-nucleotidase 3; Cytosolic 5'-nucleotidase III;
別名	cN-III; Pyrimidine 5'-nucleotidase 1; P5'N-1; P5N-1; PN-I; Uridine 5'-monophosphate hydrolase 1; p36
遺伝子 ID	51251.0
SwissProt ID	Q9H0P0
免疫原	抗血清はヒト NT5C3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 11-60

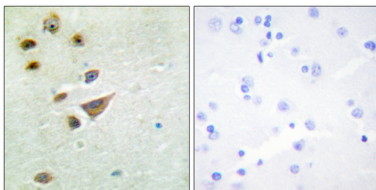
背景

5'-ヌクレオチダーゼ、細胞質 IIIA (NT5C3A) ヒト この遺伝子は、ヌクレオシド 5'-リン酸の脱リン酸化を触媒する 5'-ヌクレオチダーゼファミリーに属する酵素をコードする。コードされるタンパク質はピリミジン 5'-ヌクレオチダーゼの 1 型アイソザイムであり、ピリミジン 5'-リン酸の脱リン酸化を触媒する。この遺伝子の変異は、ウリジン 5'-リン酸加水分解酵素欠損による溶血性貧血の原因となる。この遺伝子には複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されており、この遺伝子の擬似遺伝子は 3 番染色体と 4 番染色体の長腕に位置する。[RefSeq 提供、2012 年 3 月]、触媒活性: 5'-リボヌクレオチド + H(2)O = リボヌクレオシド + リン酸。、疾患: NT5C3 の欠陥は P5N 欠損症[MIM:266120]の原因である。P5N 欠損症による溶血性貧血または UMPH1 欠損症による溶血性貧血とも呼ばれる。P5N 欠損症は常染色体劣性疾患であり、顕著な好塩基性スティッピングと赤血球内への高濃度のピリミジンヌクレオチドの蓄積を特徴とする溶血性貧血を引き起こす。鉛中毒による貧血に関与し、学習障害にも関連する可能性がある。、機能: ヌクレオチダーゼとホスホトランスフェラーゼの両方として作用する。、誘導: アイソフォーム 2 は、ループス封入体と関連して、Raji 細胞においてインターフェロン α によって誘導される。、類似性: ピリミジン 5'-ヌクレオチダーゼファミリーに属する。、サブユニット: モノマー。、組織特異性: アイソフォーム 1 とアイソフォーム 3 は網状赤血球とリンパ球で発現する。アイソフォーム 4 は網状赤血球でのみ発現する。、

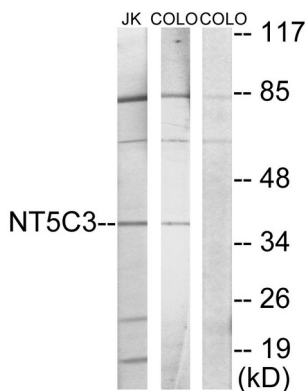
研究分野

プリン代謝;ピリミジン代謝;ニコチン酸およびニコチンアミド代謝;

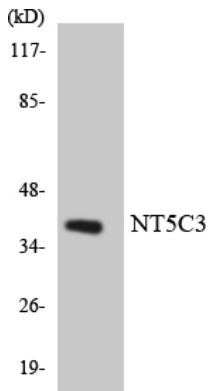
画像データ



NT5C3 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



NT5C3 抗体を用いた Jurkat 細胞および COLO205 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



NT5C3 抗体を使用した 293 細胞の溶解物のウエスタン ブロット分析。